健生ニュース　第 2717 号　2018 年（平成 30 年）8 月 25 日発行　昭和 27 年 1 月 19 日　第三種郵便物認可（毎月 3 回 5 の日発行）
1 か年定価 12,204 円（本体価格 11,300 円＋税 904 円）　発行所　株式会社インタープレス　〒 104-0031　東京都中央区京橋 1-17-2 昭美京橋ビル　TEL　東京 (03)3566-6000(代)

インタープレス
健生ニュース

監修：神楽坂 肌と爪のクリニック
院長 医学博士　野田　弘二郎先生

爪白癬（つめはくせん）

水虫の原因である真菌（白癬菌）が爪に感染しておこります。痒みや痛みがないので、自覚しづらい病気です。我が国の爪白癬患者数は 1100 万人と推計され、加齢とともに罹患率が上がります。

爪が白く濁る

爪が変色する

爪がぶ厚くなる

爪がボロボロになる

これらの症状が見られたら、早めに皮膚科など専門医療機関を受診しましょう。

こんな人は注意

- 家族に白癬患者がいる
- 爪に亀裂や剥がれがある
- スポーツクラブや公衆浴場をよく利用する
- 過去に爪白癬になった経験がある
- 糖尿病や透析患者

予防法

フロアマットなどを定期的に洗濯をするようにします。白癬菌は温かく湿った環境を好むので、靴は 1 足を履き続けずに、何足かをローテーションで履くようにしましょう。同居家族に白癬患者がいる場合は、まず本人に治療してもらい、スリッパ、サンダル、足拭きマットを別にします。

治療法

以前は内服薬がメインでしたが、肝臓に負担をかけるなどの副作用がありました。近年では、外用薬が処方されるようになり、こちらは全身性副作用の心配はありません。

外用薬
- エフィコナゾール
- ルリコナゾール

内服薬
- イトラコナゾール
- テルビナフィン

その他
- 抜爪

健康豆知識

糖尿病の人は爪白癬になりやすい

糖尿病の人は足の血管が狭くなったり、神経機能が弱くなるので細菌や真菌に感染しやすく、足白癬 (水虫)、爪白癬になりやすいと言われています。足白癬から混合感染、蜂窩織炎と進み壊疽、皮膚壊死などもあり得ます。基礎的な治療をしていれば、重症化することはありませんが、日頃からフットケアを行い、少しでも心配があれば皮膚科に相談をしましょう。